Melbourne

メルボルン［オーストラリア・ビクトリア州］

路地から路地へ、大人の休日／メルボルンに憩う、6つのテーマ／トラムでめぐる、お気に入りスポット & ストリート



歴史と緑が彩る南半球の都市へ

路地から路地へ、洗練された大人の休日。

MELBOURNE
AUSTRALIA

ルールは「自由気まま」であること。

Melbourne Free Style





表紙写真協力：岩井規征（フリンダース・ストリート駅）

メルボルン Melbourne

深いくつろぎとボーダレスな刺激が満ちる
緑豊かな「ガーデンシティ」

別名「ガーデンシティ」と呼ばれる、緑豊かな都市メルボルン。19世紀の面影を残すクラシカルな建物と現代的な高層ビルが調和し、落ち着いた雰囲気をかもし出しています。街を闊歩するのは、世界各地から集う人々。伝統を守りながら、日々新たなムーブメントをつくりだす、そんなパワフルな側面も。キーワードは「メルボニアン」＝メルボルンっ子であること。「世界でもっとも住みやすい街」にも選ばれる深いくつろぎと、ボーダレスな刺激。好奇心をふくらませて、自由気ままな旅に出てみましょう。

メルボニアンスタイルの1日を楽しんで。

路地から路地へ、大人の休日。

メインストリートから一歩入ると、そこは別世界。
入り組んだ路地にカフェやショップがひしめき、人々の熱気に満ちています。
さまざまな顔をもち、歩くほどに発見がある。そんなメルボルンを、今日はどんな風に過ごす？

9:30 Gardens

まばゆい緑にカラダがゆっくりと目覚めていく。深呼吸、森林浴。ガーデンでお散歩。



15:00 Cafe

思いたったらカフェタイム。こだわりコーヒー＆スイーツでなごみのひとときを。



11:00 Brunch

焼きたてのパンやピザからお粥まで。お気に召すまま、カフェやデリでおいしいブランチ。



16:00 Shopping

ファッションにコスメ、チーズにワイン、インテリアに雑貨まで！市場もおすすめ。



13:00 Walking

おしゃれな通りも、時が止まったような石畳も。路地めぐりはいつだって新鮮！



20:00 Dinner

この街の真のパワーが宿るのがダイニング。世界各国の味を一皿の料理に堪能して。



メルボルンの中心部は「シティ」と呼ばれています。碁盤の目のように区画された約1km×2kmのコンパクトなエリアに、都市の機能がぎゅっと詰まっているのが特徴です。シティを囲むように広がるのが、多くの庭園やガーデン。南側にはヤラ川がゆったりと流れ、さらにその先に個性あふれるストリートが続いています。

シティのもうひとつの顔が、レーンウェイと呼ばれる路地。多くが19世紀中～後期に造られたもので、地元っ子がこよなく愛するカフェやレストラン、ショップが続きます。メルボルンの文化の発信地ともいわれるアーティスティックな雰囲気は、まさに大人の休日にぴったり。着いた日からメルボニアン気分で歩きだしましょう。





1 当然ながらスイーツの充実度もかなりのもの。素材の持ち味をいかしたナチュラルな風味がクセになりそう。紅茶やホットチョコレートのおいしいカフェもアリ 2 真冬の寒空の下でもオープンエアでくつろぐツワモノ（！）がいるほど、メルボニアンのカフェ魂は筋金入り。春から秋ともなれば、メインストリートからレーンウェイの奥の奥まで、ズラリとテーブルが並ぶ華やかな風景が



Cafe

カフェ

その数、本場パリをしのぐ勢い！
迷ってしまうほどのカフェパラダイス

本場パリ以上にカフェの多い街として知られるメルボルン。シックな隠れ家風のものから、丸ごとポップアートのような1軒まで個性もいろいろです。カフェカルチャーの発信地となっているレーンウェイを中心に、カフェめぐりを楽しんでみては？

Column

メルボルンcafeメニュー講座



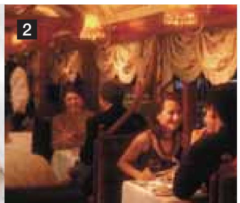
メルボルンのカフェへのこだわりは、メニューを見ても一目瞭然！ コーヒーひとつとってもさまざまなアレンジが楽しめ、その呼び方も独特です。以下、代表的なメニューを紹介します。

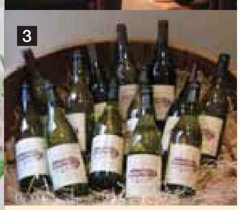
- Long Black ／ロングブラック：日本のブラックに一番近いコーヒー
- Short Black ／ショートブラック：小さなカップで提供されるエスプレッソ
- Flat White ／フラットホワイト：ロングブラックにミルクを入れたもの
- Macchiato ／マッキアート：ショートブラックにミルクを少々入れたもの
- Latte ／ラテ：ショートブラックをミルクで割ったもの
- Cappuccino ／カプチーノ：ラテの上に細かく泡立てたミルクを乗せたもの
- Mega Chino ／メガチーノ：大きなカプチーノのこと
- Vienna ／ヴィエンナ：コーヒーに生クリームを乗せココアパウダーで飾ったもの

メルボルンに憩う、6つのテーマ。



Gourmet





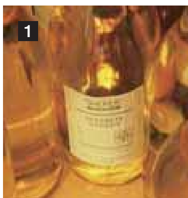
1 市内には3200軒以上のレストランがあり70か国以上の料理が味わえます 2 ユニークなトラムカーレストラン 3 地元産ワインも充実！

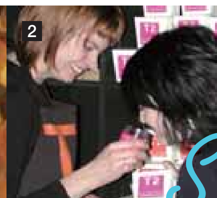
グルメ　初めて訪れる人は目からウロコな「食の都」

美しい自然に育まれたピュアな食材と、世界各地から集うシェフのワザが出会うだけに、盛り上がらないはずがないのがグルメシーン。イタリア、ギリシャ、アジアなど本格派の各国料理から、それらを融合して進化しつづけるオーストラリアンキュイジーヌまで、予算もさまざまに楽しめます。アボリジニ料理も試す価値アリ。

ショッピング　ストリートごとに変わる空気を楽しんで

高級ブランド店が多いコリンズ・ストリート、こだわりのショップが密集するレーンウェイなど、ストリートごとの特色を楽しみながら歩くのがおすすめ。ジャムやハチミツ、ワインなどの食品も要チェック。オーガニックのソルトやハーブティーも豊富で、かわいらしいパッケージからもおみやげに最適です。







Shopping





1 2 ワインショップや紅茶専門店も多い 3 歴史的な建物をいかしたショッピングモール「GPO」 4 5 サンデーマーケットのあるセント・キルダ地区は地元で人気のエリア









❶メルボルンではホテル内のスパが年々充実し、デイスパとして人気。隠れ家的な小ぢんまりした雰囲気ならシティやセント・キルダの街スパへ❷❸❹コスメはナチュラルがキーワード。ユーカリやラベンダーなど自然由来の製品が多く、ソープやハンドクリームはお土産にも人気。「マイヤー」などのデパートのほか、各ブランドの直営店でチェックして

Spas & Natural Cosmetics

メルボルンのおもなスパ	メルボルン発のおもなブランド
●Aurora Spa Retreat オーロラ・スパ・リトリート www.aurorasparetreat.com ●The Lyall Spa (The Lyall Hotel) ザ・ライアル・スパ（ザ・ライアル・ホテル内） www.thelyall.com ●Crown Spa (Crown Towers) クラウン・スパ（クラウン・ホテル内） www.crowntowers.com.au ●LiTya Spa Dreaming リティア・スパ・ドリーミング www.litya.com	● Aesop イソップ www.aesop.net.au ● LiTya リティア litya.com ● inessence インエッセンス www.inessence.com.au ● MOR モア www.mor.com.au

スパ&ナチュラルコスメ

世界が注目するメルボルン発ブランド
旅をしながらきれいになる！

アボリジニ伝統の薬や癒しの技法をベースにしたスパケアで知られる「LiTya」、自然派コスメの代名詞ともいえる「Aesop」など、実力派のスパケア&コスメがそろいます。充実のラインナップを、お得な価格で堪能してみては？



Melbourne Free Style

メルボルンらしさを楽しむなら、こんな6テーマがおすすめ。大人の旅にふさわしい、上質な街遊びを堪能させてくれるはず。でも、いちばん心に残るのは、オープンマインドで迎えてくれる地元の人々の笑顔かも。英語が苦手でも大丈夫。まずはストリートに飛び出してみましょう！

Entertainment



❶1867年に日本人が上演した記録も残る「プリンセス・シアター」❷❸巨大な複合型施設クラウンでカジノに挑戦！？





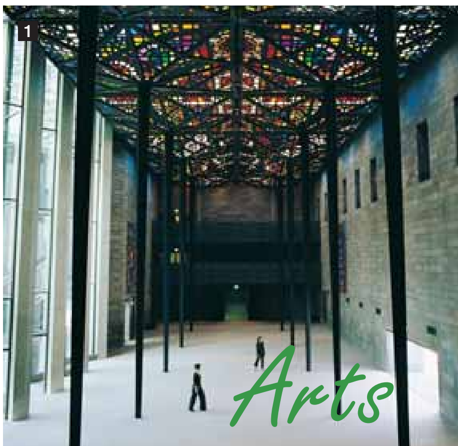
エンターテイメント ドレスアップしてミュージカルへ、カジノへ！

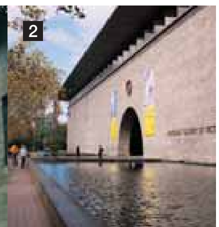
メルボルン市内のシアターでは、人気ブロードウェイ・ミュージカルが上演されています。歴史的建造物を使った重厚な雰囲気の劇場など、ドレスアップしてお出かけを。サウス・バンク地区のクラウン・エンターテイメント・コンプレックスには南半球最大のカジノもあります。

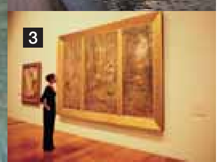
アート モダンアートやアボリジニアートにふれる

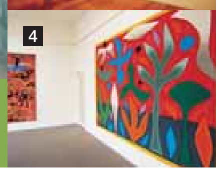
オーストラリア最大のコレクションを誇る美術館「ナショナル・ギャラリー・オブ・ビクトリア(NGV)」や、アボリジニアートのコレクションでも知られる「イアン・ポッター・センター」など美術館が豊富。街なかにあるギャラリーを訪ね歩くのもすてきです。毎年10月にはアートフェスティバルも開催。

Arts









❶❷1861年設立の「NGV」❸「イアン・ポッター・センター」。NGVとともに、特別展以外は入場無料❹「ビクトリアン・タペストリー・ワークショップ」

トラムでめぐる、お気に入りスポット&ストリート。



1 Melbourne Museum
メルボルン博物館
南半球最大の博物館。環境やアボリジニなど6つのテーマを中心に楽しみながらオーストラリアを学べます



2 Royal Exhibition Building & Carlton Gardens
ロイヤル・エキシビション・ビル&カールトン庭園
1880年に開催された万国博覧会のために建設された優美な建物。2004年にユネスコ世界文化遺産に登録



3 Queen Victoria Market
クイーン・ビクトリア・マーケット
1859年から続く歴史ある市場。生鮮食品からワイン、チーズ、お土産、服飾まで1000軒以上の店がギッシリ！

City







4 Flinders St. Station
フリンダース・ストリート駅
1854年完成のハチミツ色の駅舎で、メルボルンを代表する建築物&待ち合わせスポット。街歩きはここから！

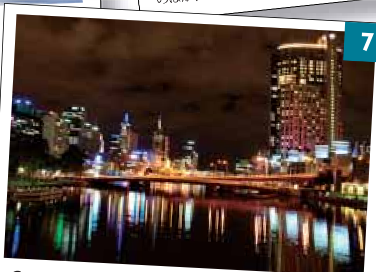


5 Southgate
サウスゲート
ヤラ川南岸の新複合型施設。レストラン、ショップ、ホテルのほか、リバービューのカフェ、リバークルーズも

City



6 Docklands
ドックランド
ビクトリア・ハーバーに面したエリアで、大規模な再開発プロジェクトが進行。メルボルンの最先端スポット！



7 Crown Entertainment Complex
クラウン・エンターテイメント・コンプレックス
2つのホテルを中核にショッピングモールやレストラン、スパ施設が充実。24時間オープンのカジノが熱い！



8 Federation Square
フェデレーション・スクエア
メルボルンのカルチャー発信地。ガラス張りのフェデレーション・センターを中心に観光案内所や美術館が並びます

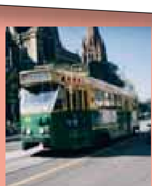




Column

便利に使おうメルボルンのトラム

シティ中心部から近郊エリアへと網の目のように走り、主要スポットへのアクセスをサポートしてくれるトラム。初めての街歩きにおすすめなのは、中心部を周回している「シティ・サークル・トラム」。右まわりと左まわりがあり、何と無料で運行中！　チケットも不要なので、誰でも気軽に乗り降りできます。一般のトラムは、トラム1日券を購入すると便利。





City



10
Melbourne Observation Deck
メルボルン展望台
高さ253m、南半球で一番高いオフィスビル。55階にある展望台は視界360度。夜景を見るのもおすすめです



9
Royal Arcade & Block Arcade
ロイヤル・アーケード&ブロック・アーケード
ナショナルトラストによって保護されている歴史的なアーケード。ブティックやアンティークショップ、カフェが並びます





11
Laneways
レーンウェイ
カフェやショップが所狭しと並び、もっともメルボルンらしさを感じさせる路地。メルボルンの隠れた名所!



12
Eureka Skydeck 88
ユーレカ・スカイデッキ88
高さ300mの「ユーレカ・タワー」88階にオープンした展望台。ガラス張りの"箱"がビルからせり出すアトラクション「The Edge」もスリリング!

メルボルン名物といえば、トラム=路面電車! 路線も多く、市内のどこでも目にすることができます。歩いても回れるシティですが、トラムに乗れば気分はもうメルボニアン。トラムに乗ったり、トラムを眺めたり。お気に入りのスポットをめぐる際に、ぜひ取り入れてみてください。

Melbourne Free Style

Around the City



1
Lygon Street
ライゴン・ストリート
イタリア人街として知られ、さまざまなイタリアンレストランが並びます。メルボルンを代表するおいしいストリート



2
St. Kilda
セント・キルダ
ポート・フィリップ湾に面したメルボルンのビーチ・エリア。毎週日曜日のサンデーマーケットがおすすめ!



3
Chapel Street
チャペル・ストリート
メルボルン一のファッショナルブルタウン、サウス・ヤラのメインストリート。高級ブティックやカフェが多い!



4
Brunswick Street
ブランズウィック・ストリート
アーティストたちが集う文化・芸術の香り漂うエリア。キッチュなカフェやショップ、古着屋なども人気



5
South Melbourne
サウス・メルボルン
マーケットや台所用品の専門店、おしゃれな雑貨ショップなどが集まる地区





トラベルインフォメーション

基本情報

人口	ビクトリア州500万人／メルボルン370万人
気候	温帯性気候に属し、四季のある温暖な気候
日本との時差	+1時間／サマータイム（通常10月下旬〜3月下旬）は+2時間
ビザ	オーストラリアへの入国には、パスポート（旅券）のほかに査証（ビザ）またはETAS（イータス=電子渡航許可）が必要。詳細はhttp://www.australia.or.jp/travel/を参照
交通	日本からメルボルンへは直行便で所要約10時間。メルボルン市内の移動にはトラムと呼ばれる路面電車が便利。充実したトラム網のほか、無料のシティ・サークル・トラムもあり、初めての旅行者でも安心して利用できる

ビクトリア州のイベント

1月	Australian Open Tennis Championships オーストラリアン・オープン・テニス ■ Website：http://www.ausopen.org/
2月	Yarra Valley Grape Grazing Festival（ワイン収穫祭） ヤラバレー・グレープ・グレージング・フェスティバル ■ Website：http://www.grapegrazing.com.au/
3月	Australian Formula One Grand Prix オーストラリアン・F1グランプリ ■ Website：http://www.grandprix.com.au/ The Melbourne Food & Wine Festival ザ・メルボルン・フード&ワイン・フェスティバル ■ Website：http://www.melbournefoodandwine.com.au/ Australian International Airshow（Avalon） オーストラリアン・インターナショナル・エアショー ■ Website：http://www.airshow.net.au/
3・4月	Merlbourne International Comedy Festival メルボルン・インターナショナル・コメディ・フェスティバル ■ Website：http://www.comedyfestival.com.au/ The Melbourne International Flower & Garden Show ザ・メルボルン・インターナショナル・フラワー&ガーデンショー ■ Website：http://www.melbflowershow.com.au/
4月	Rip Curl Pro（Bells Beach、サーフィン） リップ・カール・プロ ■ Website：http://www.surfingaustralia.com/
5月	Melbourne Jazz Festival メルボルン・ジャズフェスティバル ■ Website：http://www.melbournejazz.com/ Great Ocean Road International Marathon グレート・オーシャン・ロード・マラソン ■ Website：http://www.greatoceanroadmarathon.com.au/
8月	Kangaroo Hoppet（スキー：クロスカントリー） カンガルー・ホペット ■ Website：http://www.hoppet.com.au/
9月	Australian Football League Grand Final Series AFLグランド・ファイナル・シリーズ ■ Website：http://www.afl.com.au/
10月	Melbourne Marathon メルボルン・マラソン ■ Website：http://www.melbournemarathon.com.au/ Australian Motorcycle Grand Prix（Phillip Island） オーストラリアン・モーターサイクル・グランプリ ■ Website：http://www.grandprix.com.au/ Melbourne International Arts Festival メルボルン・インターナショナル・アート・フェスティバル ■ Website：http://www.melbournefestival.com.au/
11月	Melbourne Cup（競馬） メルボルン・カップ ■ Website：http://www.racingvictoria.net.au/ Equitana Asia Pacific（馬事産業の総合国際博） エクイターナ・アジア・パシフィック ■ Website：http://www.equitana.com.au/

最新情報&詳細情報は日本語
ウェブサイトでご確認ください

オーストラリア・ビクトリア州政府観光局
www.visitmelbourne.com/jp
■写真協力：John Karmouche／Montalt Vineyard and Olive Grove／Peninsula Hot Springs／Rupert Lorhalder／結城剛太

Index

Grampians

▶ **グランピアンズ国立公園**
Grampians National Park
総面積 16 万 7000ha、州内最大の国立公園。30 分ほどの気軽なウォーキングから本格登山、キャンプサイトでのキャンプまでさまざまに楽しみたい。**photo1**
メルボルンから車で約 3 時間 30 分
http://www.visitgrampians.com.au/

▶ **マッケンジー滝**
Mackenzie Falls
グランピアンズ国立公園内、ワートック湖の南側にある大瀑布。すぐ近くまで車でアクセスできるほか、周辺には歩きやすいハイキングコースが整備。**photo2**
メルボルンから車で約 3 時間 30 分
http://www.visitgrampians.com.au/

▶ **ブランブック・アボリジナル文化センター**
Brambuk Aboriginal Cultural Centre
国立公園ビジターセンターの裏手にある。アボリジニの歴史や文化を紹介するほか、ロックアートを見に行く 4WD ツアーなどもアレンジ可能。**photo4.5**
メルボルンから車で約 3 時間
http://www.brambuk.com.au/

▶ **ロイヤル・メイル・ホテル**
Royal Mail Hotel
南部の町ダンケルドにある 4 スターのリゾート。客室やプールなどから雄大な山並みを望むほか、夜は満点の星空が美しい。レストランも美味。**photo6**
メルボルンから車で約 4 時間（グランピアンズ経由）
http://www.royalmail.com.au/

▶ **セペルト・グレート・ウエスタン**
Seppelt Great Western
1865 年創業で、金鉱夫が手掘りした地下洞窟のワインセラーが有名。樹齢 100 年の古木から取れるワインのほか、シラーズやスパークリングをぜひ。**photo11**
メルボルンから車で約 4 時間
http://www.seppelt.com/

Ballarat

▶ **ソブリンヒル**
Sovereign Hill
ゴールドラッシュで栄えた 19 世紀のバララットのテーマパーク。砂金採りや坑道内見学、当時を再現した町でのショッピングを楽しんで。**photo10**
メルボルンから車で約 1 時間 30 分
http://www.sovereignhill.com.au/

▶ **バララット・ワイルドライフ・パーク**
Ballarat Wildlife Park
ソブリンヒルのすぐ近くにある動物園。コアラとの記念撮影やカンガルーのエサやりなど思う存分オーストラリアの動物とふれあえる。**photo12**
メルボルンから車で約 1 時間 30 分
http://www.wildlifepark.com.au/

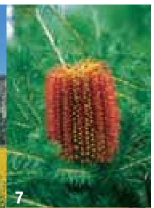
▶ **ファームステイ**
Farmstay
オーストラリアならではの牧場や農場での生活を体験。羊や牛の世話をしたり、乗馬等のアクティビティにトライするなど内容は応相談。**photo13.14**
バララット近郊など


2


6


5


9


7


8

2. 代表的なみどころのひとつ、マッケンジー滝。車を降りてハイキング気分で訪れて **3.** 国立公園内にはキャンプサイトも多数用意されています。キャンピングカーで訪れるなど、自然と一体になる体験にトライするのもおすすめです。ベストシーズンは春と秋。日本とは季節が逆になるので注意を **4.5.** 狩猟採取生活を送ってきたアボリジニ。遺構を訪ねた後は、狩の道具であるブーメラン作りなどの体験も **6.** ロイヤル・メイル・ホテルにて **7.8.9** 山中の道端や岩陰にひっそりと咲くワイルドフラワーもグランピアンズならではの楽しみ。麓に広がる菜の花の花畑などもロマンチック。ベストシーズンは 9 〜 10 月


15

10. バララットにあるソブリンヒルは 19 世紀のゴールドラッシュ時代そのままの雰囲気が楽しめるユニークなスポット **11.** 雨の少なさと標高の高さで知られるグランピアンズ一帯は、エレガントで力強い赤ワインの産地としてカリスマ的な人気。ワイナリー訪問もぜひ **12.** 気軽に固有動物とふれあうならバララット・ワイルドライフ・パークが最適 **13.14.** バララットやその近郊はファームステイの好適地。英語の体験学習を兼ねて明るいオージーのもとに飛び込んでみて！ **15.** バララット周辺ではアンティークショップめぐりもおすすめです


14





3



4



1.グランピアンズ国立公園の山並み。山頂部付近には3億年前の地層があらわになった荒々しい岩肌が続き、中腹にはゴンドワナ大陸時代から続くユーカリの森や温帯雨林が広がる

Mountains

聖なる山々に抱かれて、オージーライフ体験。

1

大陸最高峰を抱える大分水嶺山脈が、緑豊かな平原となる一帯。山々に聖なるアボリジニの伝統を、麓にオージーの暮らしを訪ねるひと味違った旅を。

グランピアンズ＆バララット



神秘の山脈と緑の平原で 本物のオーストラリアに出会う

宇宙からの衛星写真で見るオーストラリアは、赤茶けた砂漠の大地そのもの。中で目を引くのが、東部の海岸線を縁取るように続く緑の平野です。この境目に延びるのが大分水嶺山脈。太平洋からの湿った風はここで大量の雨となって大地を潤し、マレー河の源流や、荒野の貴重な地下水の水源にもなっていきます。

大陸最北端のヨーク岬から連なるこの山脈が、最南端のビクトリア州内でぐるりと西方に湾曲し、やがてなだらかな平原へと尽きる一帯、ここがグランピアンズです。それだけに、変化に富んだ地形のユニークさと植生の豊かさは語りつくせぬほど。国立公園内だけでも、オーストラリア固有の植物が９００種以上観察可能。また、２００種以上の野鳥、35種以上の哺乳動物、11種の水陸両生生物なども生息しています。近隣のリゾートに滞在したり、手入れの行き届いたキャンプサイトでキャンプをしたり。満天の星空が美しい夜を含め、神秘的なマウンテンライフを満喫してください。

また、クリンに代表されるアボリジニの遺構を訪ねるのも興味深い体験です。何万年もの間、自然を崇拝し自然とともに生きた彼らの謎に満ちた歴史と文化にふれれば、より一層山が身近になるかも。

一方、麓の大地に暮らす底抜けに明るいオージーの暮らしを訪ねるのも楽しみ。ファームに滞在して交流を深めるのも、思い出深い旅になるはずです。

19世紀にゴールドラッシュで栄えたバララット界隈には、基本的人権を求めて英国軍と交戦した“オーストラリア唯一の市民戦争”の足跡も。知らなかったもうひとつの、そして本物のオーストラリアをぜひ訪ねてみてください。

Aussie Life

12



13



11



10



Index

Great Ocean Road

▶ **ジーロング**
Geelong
　メルボルンから向かう途中の分岐点。州第 2 の都市で、再開発されたウォーターフロントは散策に最適。シーフード＆ワインの本場のひとつ。**photo10**
メルボルンから車で約 1 時間
http://www.visitgeelong.org/

▶ **トーキー**
Torquay
　ロード東側の起点。ベルズ・ビーチなどサーフィンのメッカとして知られ、「リップカール」などサーフブランドの本拠地での買物も楽しみ。**photo11**
メルボルンから車で約 1 時間 20 分
http://www.greatoceanrd.org.au/

▶ **アングルシー**
Anglesea
　野生のカンガルーが数多く生息するエリア。とくに「アングルシー・ゴルフクラブ」が格好の観察スポットで、見学のみの訪問も可能。**photo4**
メルボルンから車で約 1 時間 30 分
http://www.angleseagolfclub.com.au/

▶ **クリスズ・ベーコン・ポイント**
Chris's Beacon Point Restaurant
　アポロ・ベイ近くの高台にあり、バス海峡を一望する老舗レストラン。シーフードを中心とした料理は州内最高峰との呼び声。併設のヴィラもいい。
メルボルンから車で約 2 時間
http://www.visitmelbourne.com/jp/

▶ **カンバーランド・ローン・リゾート**
Cumberland Lorne Resort
　ローンのビーチに建つリゾートホテル。1 ベッドルームでも 69 ㎡の広々した客室や、Endota Spa のサロンが好評。アングルシーにも近い。**photo16**
メルボルンから車で約 2 時間
http://www.cumberland.com.au/

▶ **ケネット・リバー**
Kennet River
　グレート・オーシャン・ロードの沿道にあるユーカリの林で、多いときは 20 頭もの野生のコアラが見られる。車を停めて散策を。**photo9**
メルボルンから車で約 2 時間 30 分
http://www.visitapollobay.com/

▶ **グレート・オーシャン・ウォーク**
Great Ocean Walk
　アポロ・ベイから「12 使徒」まで続く、全長 91km のウォーキングトラック。変化に富んだ大自然の中に道が続き、徒歩で絶景を満喫。**photo14**
メルボルンからアポロ・ベイまで車で約 2 時間
http://www.greatoceanwalk.com.au/

▶ **オトウェイ・フライ・ツリートップ・ウォーク**
Otway Fly Treetop Walk
　オーストラリア最大のツリートップ・ウォークで、空中遊歩道は全長 600m。野鳥の目の高さで広大な温帯雨林を一望。カフェなども併設。**photo13**
メルボルンから車で約 3 時間
http://www.otwayfly.com.au/

▶ **ポート・キャンベル国立公園**
Port Campbell National Park
　高さ数十メートルの断崖、強い波と風の浸食による「12 使徒」や「ロンドンブリッジ」などの奇岩群が見もの。朝・夕の風景がとくに幻想的。**photo2.6.7**
メルボルンから車で約 3 時間 50 分
http://www.parkweb.vic.gov.au/

▶ **グレート・オーシャン・ロード・ヘリコプターズ**
Great Ocean Road Helicopters
　ヘリコプター遊覧ツアー。10・15・20 分のコースがあり、「12 使徒」の駐車場付近から離陸する。メルボルンからの運航もアレンジ可能。**photo12**
メルボルンまたはポート・キャンベル国立公園発
http://www.gorhelis.com/

7. 夕暮れのポート・キャンベル国立公園。一帯を茜色に染める夕焼けは圧巻のひとこと **8.** オトウェイ国立公園に広がる温帯雨林。昼でもほの暗い森の中では、シダ類の群生やカラフルな野鳥も見もの。神秘的な森の散歩を楽しんでみては **9.** 沿道には、野生のコアラと高い確率で遭遇できるスポットもあり。ケネット・リバーはその代表格です **10.** 行き帰りの拠点にしたいジーロング。ウォーターフロントでは地元の人々がのんびりと遊ぶ姿が見られます **11.** 国際大会が多数開かれるベルズ・ビーチはサーファーたちの聖地。サーフィン博物館やいくつものサーフショップをめぐってシーサイドリゾート気分を盛り上げて。トーキーにて


7


9


8


11


10

もっと楽しむ！
グレート・オーシャン・ロード


12

乗る！ Helicopter Rides

12. 絶対にオススメ！なのがポート・キャンベル上空でのヘリコプターライド。空から眺める風景は格別で、まさに言葉を忘れる体験です。


15

食べる！ Seafood

15. ご当地名物のシーフードも忘れないで！クリスズ・ベーコン・ポイントなど沿道の町には人気レストランが豊富。地ワインも楽しみです。


14


13

歩く！ Walking Track

自分の足で歩けば、大自然との一体感もひとしお。**13.** オトウェイ・フライ・ツリー・トップ・ウォークや **14.** グレート・オーシャン・ウォークへ。

泊まる！ Hotels, B&B

16. カンバーランド・ローン・リゾートなどリゾートホテルのほか、**17.** オーナーのこだわりが詰まった B&B で地元の人との交流を深めるのも素敵。


17


16



1



2

駆け抜けた大地の果てで、見えてくるもの。

徐々に切り立っていく断崖、吸い込まれそうなほど深く青い海。背後には森閑としたシダの森。ドラマティックな大陸の果てへと走り出してみませんか。

Drive

1. “世界で最も美しい海岸道路”を実感するなら、気ままなセルフドライブが最適 2. ポート・キャンベル国立公園にある「12使徒」。石灰岩の崩落の跡に荒ぶる自然のパワーを感じて 3. ジーロング周辺は世界的に有名な羊毛の産地。何気ない風景にオーストラリアらしさを感じるひとコマ 4. アングルシー・ゴルフ・クラブにて。我が物顔でのんびりとくつろぐカンガルーが愛らしい 5. ドライブ途中で出会ったペリカンたち。次々に現れる野生動物との出会いも楽しみです 6. ポート・キャンベル国立公園の名所のひとつ「ロック・アード・ゴージ」。ハチミツ色の砂浜に立てば圧倒されるような岸壁が



グレート・オーシャン・ロード

大自然の中へ



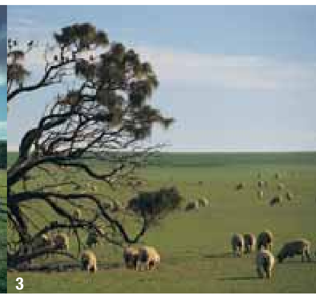
6



5



4



3

ビーチリゾートからシダの森、そして言葉を失う絶景の断崖へ

〝世界で最も美しい海岸道路〞と呼ばれるグレート・オーシャン・ロードは、トーキーからアランスフォードまで続く約260㎞の道。メルボルンから車を走らせれば、次々と変化のある風景にも〝世界一〞の楽しみを発見できるはずです。

バス海峡に沿ってビーチリゾートが、内陸側にブドウ畑や広大な羊毛の産地が広がる前半部分は、のびのびとしたドライブエリア。沿道の町でのグルメ体験もまた楽しみです。

行程の中ほど、うっそうとした温帯雨林が茂るオトウェイ国立公園にさしかかるころには風景が一転。緑濃い樹海に足を踏み入れて深呼吸すれば、体のすみずみまで浄化されていくかのよう。ここから先は、一気に崖上の道へ。青い海が眼下に開けるドラマチックな展開で、ドライブもいよいよクライマックスへ。

日本のおよそ22倍という、広大な面積をもつオーストラリア大陸。中央部の荒野が緑濃い森となり、その最南端でぷっつりと断ち切られたように深く青い海へと落ち込んでいく――。絶景ドライブのハイライトとなるのが、ポート・キャンベル国立公園。数ある名所のなかでも、奇岩群が並び立つ「12使徒」は格別です。目を凝らすと、岩のひとつに崩落の跡。2005年に、押し寄せる荒波と強風の前に崩れ落ちた「使徒」のひとつです。

目の前に広がるのは、そんな自然の厳しさを見せつける南極海の大海原。この海のはるか南に横たわる南極大陸とは、1億7000万年もの昔、ゴンドワナ大陸の一部として地続きであったといいます。夕暮れどき。海とハチミツ色の断崖を真っ赤に染める壮大な夕焼けに包まれるとき、人は何を思うのでしょうか。

Index

Yarra Valley

▶ **シャトー・イェーリング・ヒストリック・ハウス**
Chateau Yering Historic House
　1854 年建築のビクトリアンスタイルの瀟洒な館を使ったマナーハウス風ホテル。250 エーカーの敷地にスイートが全 32 室とぜいたくな趣向。**photo2.9**
メルボルンから車で約 1 時間
http://www.chateauyering.com.au/

▶ **ザ・シーベル・ヘリテージ・ヤラ・バレー**
The Sebel Heritage Yarra Valley
　ジャック・ニクラウス氏がデザインしたゴルフコースに隣接するホテル。96 室の客室と 6 つのスイートがあり、併設のデイスパも人気が高い。**photo3.4**
メルボルンから車で約 1 時間
http://www.mirvachotels.com.au/

▶ **バルゴーニ・エステート**
Balgownie Estate
　全 65 室のモダンなスイートを擁するブティックホテル。併設のデイスパでは、ピノ・ノワールのオイルやエキスを使うスパケアが話題に！　**photo5**
メルボルンから車で約 1 時間
http://www.balgownieestate.com.au/

▶ **デ・ボートリ・ワイナリー & レストラン**
De Bortoli Winery & Restaurant
　イタリア系移民の一家が創設した、ヤラ・バレーの代表的なワイナリー。レストランとチーズショップもあるほか、各種講習会を実施。**photo6**
メルボルンから車で約 1 時間 20 分
http://www.debortoli.com.au/

▶ **ドメイン・シャンドン**
Domaine Chandon
　フランスのモエ・エ・シャンドン社の資本によるワイナリー。伝統的な製法による、オーストラリア産のスパークリングワインが人気。**photo7.8**
メルボルンから車で約 1 時間
http://www.domainechandon.com.au/

▶ **グローバル・バルーニング**
Global Ballooning
　眼下に牧場やブドウ畑を眺める優雅な熱気球ツアーを催行。ツアー後はシャンパンで乾杯した後、ビュッフェ形式の朝食で盛り上がる！　**photo11**
メルボルンから車で約 1 時間
http://www.globalballooning.com.au/

▶ **オーストラリアン・ワインツアー・カンパニー**
Australian Wine Tour Company
　地区の名物ワイナリーを巡る 1 日ツアーを催行。専任ガイドが、醸造過程やワインの味わい方をていねいに説明。ワインの奥深さにふれることができる。ツアーは 10:00 ～ 17:00。**photo12**
メルボルン発着
http://www.austwinetourco.com.au/

Dandenong Ranges

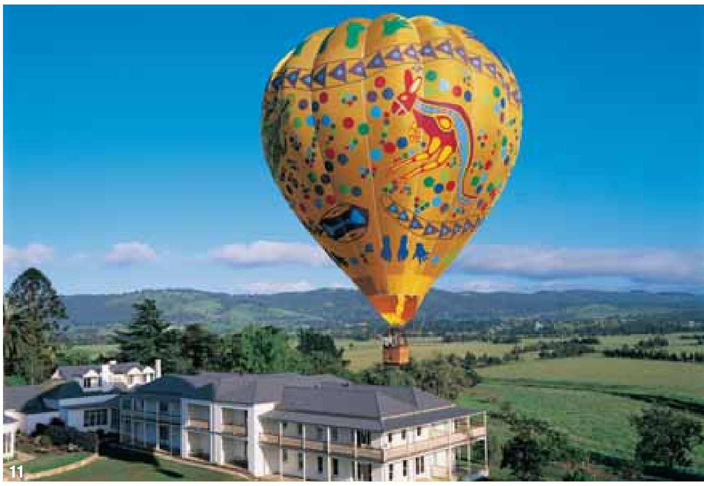
▶ **パッフィン・ビリー鉄道**
Puffing Billy Steam Railway
　全長約 25km を走り抜ける、オーストラリア最古の蒸気機関車。緑濃い温帯雨林や木製のトレイスル橋など、ダンデノンの美しい風景も見もの。**photo10**
メルボルンから車で約 1 時間
http://www.puffingbilly.com.au/

▶ **クラウドヒル・ナーセリー**
Cloudehill Nursery & Gardens
　海外からの取材も多いダンデノン丘陵の人気ガーデン。新たにカフェも登場し、庭を眺めつつランチや季節のスイーツが楽しめる。**photo13**
メルボルンから車で約 1 時間 20 分
http://www.cloudehill.com.au/

▶ **ヒールスビル自然保護区**
Healesville Sanctuary
　自然のままの環境の下、200 種類以上の動物を飼育。オーストラリアの固有種のなかでも、とくに希少なカモノハシの保護活動で有名。**photo14.15**
メルボルンから車で約 1 時間
http://www.zoo.org.au/


10


12


11


13


14


15

Activity

10. ヤラ・バレーの背後に広がるダンデノン丘陵の名物、蒸気機関車パッフィン・ビリー鉄道。丸 1 日フルに使っての運転体験教室などユニークなプログラムも随時登場 **11.** ワイン畑を見下ろす熱気球体験 **12.** ワインのことをもっと深く知りたい人にはワインツアー・カンパニーのツアーがおすすめ **13.** ダンデノン丘陵で近年人気のガーデン訪問。クラウド・ヒル・ナーセリーにて **14.15** 滞在中に訪れたいヒールスビル自然保護区。希少動物の保護活動や生態にふれる貴重な経験を

マッチングでもう迷わない！？ ワイン & フードの豆知識

　ワインは、食べ物や料理と出会ってこそ、その魅力が何倍にも引き立つもの。以下、代表的なワインの種類とそれに合う料理をチェック！

○●スパークリングホワイト / ピンク
カキ、スモークサーモン、エビなどの魚介料理のほか、フルーツ類にも。

●スパークリング・レッド
優雅なランチやブランチに添えたい。クリスマスのローストターキーにも。

○ソービニヨン・ブラン / リースリング
タイ料理などのエスニック料理に。ソービニヨン・ブランは魚料理に。

○シャルドネ（アンオークド）
温野菜サラダなど野菜料理全般に、肉料理ではポークや仔牛肉にグー。

○シャルドネ
魚料理やチキンに。田舎風トマトソースのパスタなどにもよく合います。

●ピノ・ノワール
ダック料理との相性の良さは格別。いつでも OK というピノ愛好家も多数。

○カベルネ・ソービニヨン / シラーズ
肉料理全般。ビーフはもちろん、カンガルーなど野趣あふれる料理にも。


難しい理屈はヌキ!?　例えばこんな青空の下で自由に味わうのもビクトリアンワインの醍醐味

Wine Country

ヤラ・バレー & ダンデノン丘陵

大自然の中へ



芳醇なワインの香りと、フレッシュなグルメに時を忘れて。

オーストラリアを代表するワインの郷ヤラ・バレー。
日がな一日グルメ三昧に浸った翌日は、ユニークなアクティビティをぜひ。

絵画のような風景の中でグルメ談義に花を咲かせる旅

丘の、そのまた向こうの丘へと続くブドウ畑。遠い空の下には、幾重にもかすむダンデノン丘陵。まるで絵本の中に出てくるような美しい風景が広がるヤラ・バレー。ブドウ畑が青々とした葉に覆われる夏、たわわな実が揺れる秋、そして収穫を終えて枯れ木の群れとなる幻想的な冬や早春と、季節によって鮮やかに変わる色彩もまた絵画のよう。何度訪れても飽きることがありません。

この地でワイン造りが始まったのは、1838年。現在は70軒以上のワイナリーが点在し、国内屈指のワインカントリーとして知られています。その秘密は、とりわけ冷涼な気候に恵まれていること。川沿いの平地から急斜面まで、変化に富んだ地形に沿って畑が広がり、多種多様なブドウを育んでいます。土地の人々がもっとも誇りにしているのが、国内最高峰といわれるピノ・ノワール。また、シャルドネも評価が高く、ともに数々の逸品を生み出しています。

目移りするほどおいしいワインがそろうだけに、効率よくテイスティングに駆け回るのもいいですが、滞在して日がな一日グルメ三昧と決め込むのもおすすめ。多くのワイナリーには名うてのシェフが腕を振るうレストランが控えているほか、豪奢なプチホテルのダイニングもまた負けず劣らず。夜もすがらワイン談義に花を咲かせる、大人の旅をどうぞ。

翌朝はゆっくり眠って…と言いたいところですが、ぜひトライしたいのが早朝の熱気球体験です。凛とした夜明けの空気を胸いっぱい吸い込んで、大地を赤く染める日の出を空から眺めるとき、心も体も生まれ変わるかのような不思議な感動に包まれるはずです。



















1. 朝夕と時間を変えて眺めていたくなるヤラ・バレーの風景 **2.** メルボルンからヘリコプターで乗りつけるセレブもいるというシャトー・イェーリングのメインダイニング「エレノアズ」 **3.4.** スパも人気のシーベル・ヘリテージ **5.** 赤ワインエステにも興味津々のバルゴーニ・エステート **6.** 特産のチーズも買えるデ・ボートリ・ワイナリー & レストラン **7.8.** ドメイン・シャンドン **9.** 一度は泊まりたいシャトー・イェーリングのステーブルスイーツ

Index

Phillip Island

► **リトル・ペンギン・ウォッチング（ペンギン・パレード）**
Little Penguin Watching (Penguin Parade)
　専用のボードウォークとプラットフォームから野生のペンギンを間近に眺められる。“パレード”は、夏期（10月下旬～3月上旬）は20:00台、それ以外は17:30～19:00ごろ。**photo1.2**
メルボルンから車で約2時間
http://www.penguins.org.au/

► **コアラ保護センター**
Koala Conservation Centre
　野生同様に暮らすコアラが観察できる自然環境公園。一緒に記念撮影することも可能なので、モコモコしたかわいい姿をカメラに収めて！　**photo3**
メルボルンから車で約2時間
http://www.penguins.com.au/

► **ノビーズ・センター**
Nobbies Centre
　2007年に登場したフィリップ島のアザラシ観察センター。1万6000頭ものコロニーをライブ映像＆大画面スクリーンで見学可能。入館無料。**photo4**
メルボルンから車で約2時間
http://www.nobbies.org.au/

► **ワーロック・キャトル・ファーム**
Warrook Cattle Farm
　フィリップ島の手前にある広大な牧場。1～1時間30分のファームツアーなど各種の牧場体験が楽しめる。子羊やカンガルーのエサやりもぜひ！
メルボルンから車で約1時間
http://www.warrook.com.au/

Mornington Peninsula

► **ムーンレイカー・ドルフィン・スイム**
Moonraker Dolphin Swims
　野生のイルカが泳ぐ海域をクルーズで訪れ、一緒に泳ぐツアー。アザラシにも出会えて、海の動物好きにはたまらない体験に。10～4月限定。**photo5**
メルボルンまたはソレント発
http://www.moonrakercharters.com.au/

► **ウッドマン・エステート**
Woodman Estate
　「ラグジュアリーカントリーホテル」がコンセプト。客室は3タイプのスイートからなり、プライベートレイクに面したスパも心地いい。**photo12**
メルボルンから車で約1時間15分
http://www.woodmanestate.com.au/

► **ホースバック・ワイナリーツアー**
Horseback Winery Tours
　ホースバック＝馬の背に乗ってビーチや丘など半島内の美しい風景をめぐり、有名ワイナリーを訪問するツアー。所要3時間、初心者OK。**photo7**
メルボルンから車で約1時間30分
http://www.horsebackwinerytours.com.au/

► **ペニンシュラ・ホットスプリング**
Peninsula Hot Springs
　ミネラル分豊富な天然温泉を使うスパ施設。日本の温泉にヒントを得た露天風呂など入浴施設（要水着）と「Li'Tya」のスパケアを楽しんで。**photo8.9**
メルボルンから車で約1時間30分
http://www.peninsulahotsprings.com.au/

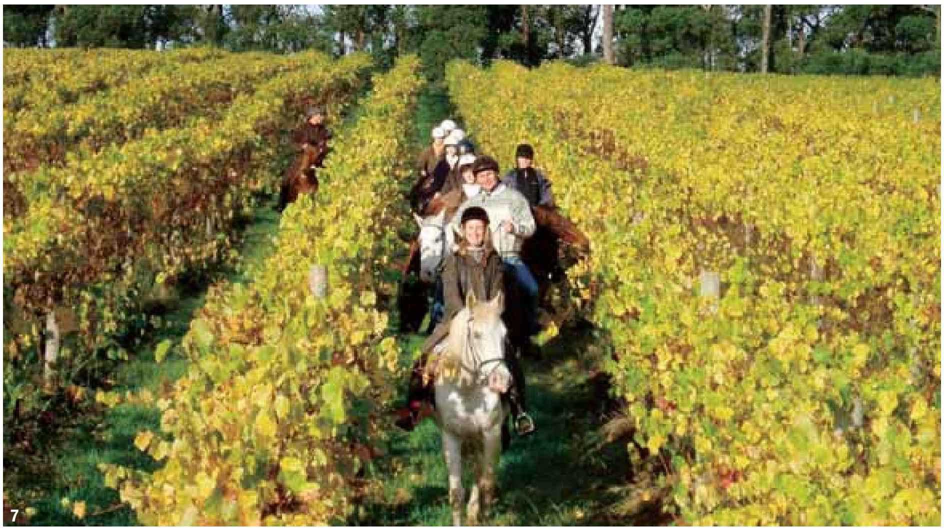
► **モンタルト・ビンヤード＆オリーブ・グローブ**
Montalto Vinyard & Olive Grove
　各種のワインとともに秀逸なオリーブオイルでその名を知られるワイナリー。オーガニック野菜をふんだんに使うレストランも人気。**photo10**
メルボルンから車で約1時間30分
http://www.montalto.com.au/

► **ペッパーズ・ムーナリンクス・リゾート**
Peppers Moonah Links Resort
　全豪オープンの会場にもなったゴルフコースを中核とするリゾート。96の広々とした客室やレストラン、「Endota」のスパでくつろいで。**photo11**
メルボルンから車で約1時間30分
http://www.peppers.com.au/

Reflesh


6

6. 美しいガーデンが多いモーニントン半島。国内最古・最大の迷路や通年見られるラベンダー畑などアッシュコム・メーズ&ラベンダー・ガーデンも楽しい 7. 乗馬でプチトリップ、そんな究極のリフレッシュをワイナリーツアーで 8.9. ペニンシュラ・ホット・スプリング。日本の温泉にインスパイアされたという露天風呂とアボリジニに伝わる薬草の知恵を取り入れたスパケアで日豪双方の「キレイ」を体感 10. モンタルト・ビンヤード & オリーブ・グローブなど新進気鋭のワイナリーが多いのも特徴 11.36 ホールを擁する本格的なゴルフリゾート、ムーナリンクス 12. ウッドマン・エステートのスパスイート


7


9


8

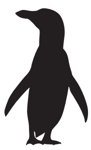

12


11


10

ベストシーズンはいつ？
動物別ネイチャー・カレンダー

　フィリップ島＆モーニントン半島では、通年にわたって野性動物たちに出会えます。ビクトリア州内はほぼ同じタイミングとなります。



ペンギン
12～1月　捕食期
2～4月　脱毛期
5～7月　巣作り期
8～11月　繁殖・産卵・子育て期



アザラシ
12～1月　出産・繁殖期
2～9月　通常期
10～11月 出産期



コアラ
1～2月　出産期
3～7月　子育て期
8～10月　マーキング期（オス）
11～12月 繁殖期



イルカ
通年

ピュアな目をした動物たちとの、心躍る出会い。

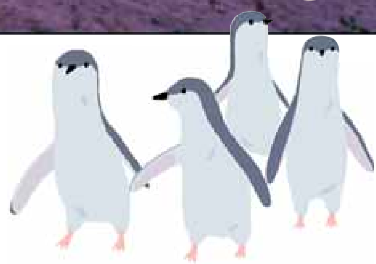
Wild life

野生のペンギンが闊歩する海岸、アザラシが悠々とくつろぐ巨大コロニー。野生動物のパラダイスへ、忘れられない出会いを求めて。



フィリップ島 & モーニントン半島

1



1. 自然のリズムが息づくフィリップ島。野生動物の宝庫であると同時に自然保護への積極的な取り組みでも世界的に注目されています **2.** 島のマスコット的存在でもあるリトル・ペンギンが繰り広げる「ペンギン・パレード」。これを見ずしてオーストラリアは語れない⁉ **3.** コアラを見るなら保護センターが近道。のんびりとユーカリを食む姿に癒されて **4.** フィリップ島最西端に浮かぶシール・ロックには野生のアザラシの王国が。ノビーズ・センターで見るほかクルーズで訪れる方法も **5.** モーニントン半島周辺は野生のイルカの生息地として有名。夏期には一緒に泳げるドルフィンスイムツアーも人気です


5


4


3


2

波間から次々に現れる、ヨチヨチ歩きのペンギンたち！

宵闇がひたひたと迫る海岸。岩場の見学スペースで待つこと十数分。寄せては返す波間に、突然いくつもの小さな黒い点がぽっかりと現れ…。「えっ⁉」と思うのもつかの間、黒い点は波に洗われつつ必死に立ち上がります。一羽、また一羽。「ペ、ペンギンだーっ‼」

波打ち際で仲間を待つ者、果敢に陸を向いて歩き出す者。岩場の巣では早くもヒナたちによる興奮の合唱が湧き、親は子どもたちの「晩ご飯」で重くなったお腹を振り振り、マイホームへと急ぎます。私たちの手が届くほど近くを、ペタペタというかわいい足音を響かせながら――。

そんな光景を毎夜目の当たりにできる海岸が、フィリップ島にあります。このほか、コアラの保護施設や、オーストラリア国内でも2番目に大きなアザラシのコロニーなどもあり、まさに野生動物のパラダイスといった趣。21世紀の今、まして高層ビルが建ち並ぶ大都会のそばで繰り広げられる悠々とした動物たちのドラマ。ビクトリア州の自然の豊かさと、それを守りつづけてきた人々の熱意に旅の感動が極まるスポットです。

メルボルンからフィリップ島を目指す途中では、モーニントン半島に寄り道するのも一案。こちらには、天然温泉が満ちるスパ施設あり、ラグジュアリーなリゾートやゴルフ場あり。日本では知る人ぞ知る上質なワインを造るワイナリーも点在しています。いずれものびのびとした大自然のなか、ゆったりと滞在したくなる施設ばかり。通り過ぎてしまってはもったいない、むしろ一泊してでも足を延ばしたい。のんびり、うっとりとくつろぎながら、自然のリズムに身をまかせてみてはいかが？

Victoria

ビクトリア州
［オーストラリア］



フィリップ島&モーニントン半島
ヤラ・バレー&ダンデノン丘陵
グレート・オーシャン・ロード
グランピアンズ&バララット

ドラマティックな大陸最南端へ

まだ見ぬ感動体験を求めて、大いなる小旅行。

MELBOURNE
AUSTRALIA